

1. こども園への移行に関する基本方針

①保育園からの移行：1号認定枠の設定

- ・保護者の離職、産休育休等の事情による途中退園を防ぎ、1号認定枠の中で柔軟に対応できることを目的とする。(A)

②幼稚園からの移行：2号、3号認定枠の設定

- ・待機児童対策とし、フルタイムでの就労者も受け入れる環境を整えることを目的とする。(A)

③公立幼稚園が閉園する地区における保育園からの移行：移管分を1号認定枠として上乗せして設定

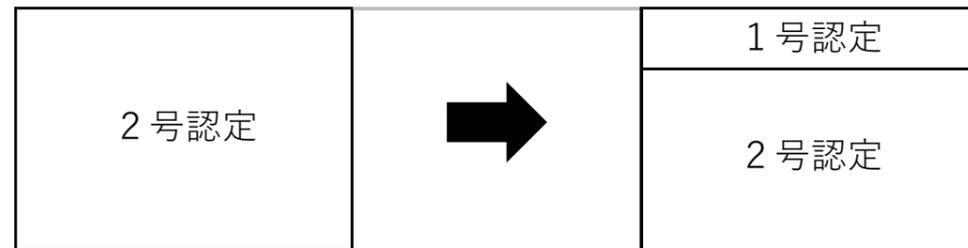
- ・公立幼稚園が閉園する地区においては、同地区内のこども園へ移行する園の1号認定枠の合計数を閉園予定の園児数と同程度とする。(B)

2. 定員設定のルール案

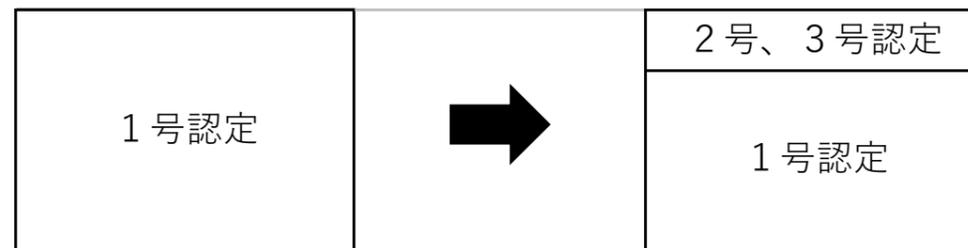
<既存(こども園移行前の施設)の定員設定を守るパターン>

A 既存(こども園移行前の施設)の認可定員を超えない範囲内で新規認定枠を設定

- ・保育園からこども園へ移行する場合

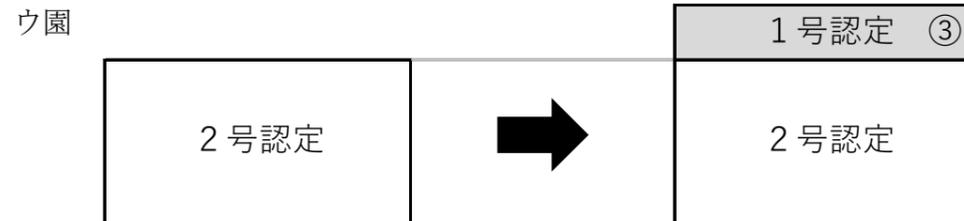
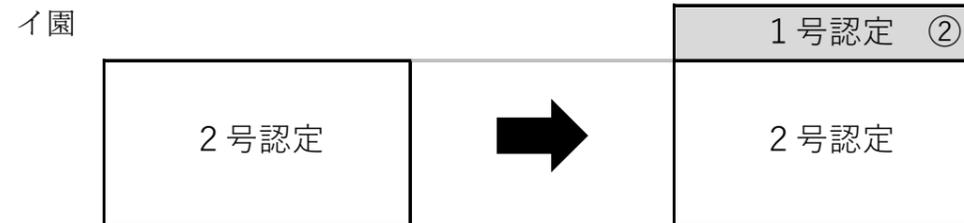
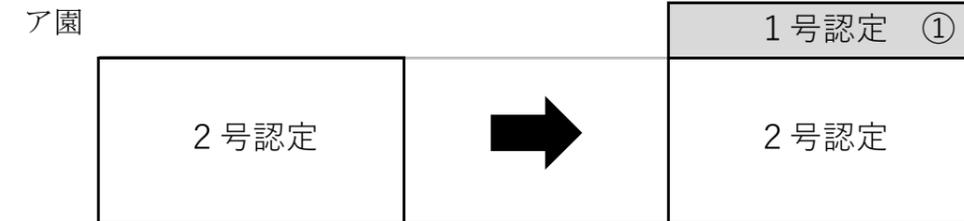


- ・幼稚園からこども園へ移行する場合



<再編を踏まえるパターン>

B 公立園の閉園に伴う1号受入枠設定



1号認定枠 = ① + ② + ③

閉園する園と同程度の園児数⇒複数園が移行する際は、各園の1号認定枠の合計と一致

その他：<公立幼稚園・保育園統合に伴う、在園児の受入れのための一時的措置>

「令和6年度のみ〇〇園1号認定5歳児△名、以降は□名」

- ・富洲原保育園 1号認定5歳児5名、以降は2名
- ・八郷西保育園 1号認定5歳児4名、以降は2名
- ・下野中央保育園 1号認定5歳児6名、以降は2名